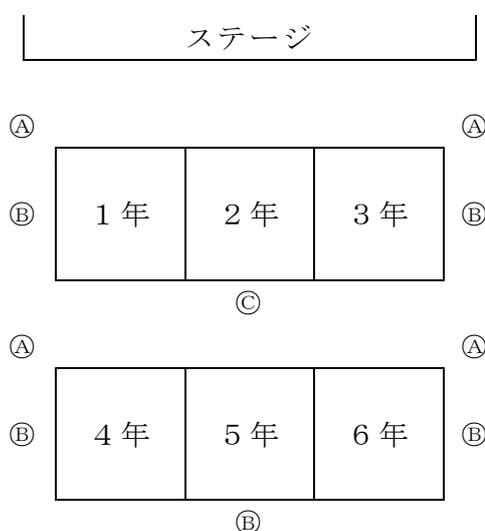


集会時の留意点

集会には、全校集会や学年集会、生徒集会等があるが、特に教師の立ち位置について、考えてみましょう。どこにいてもいいわけではなく、適切な位置があるのです。

1 全校集会

- ・引率 … 担任は、入場・退場共に先頭で。(最後尾ではない)
教室でリーダーの子に引率を指示しても、行った先で戸惑ってしまう。
- ・服装 … 男性はスーツ・ネクタイ、女性はそれに準ずる。
月に一度であることや、学期始め・学期末などの節目の儀礼的な意味もあり、生徒が制服着用ならば、教師も身を正して参加するのが望ましい。
- ・校長先生の話 … うろつかない。他の教師と業務連絡をしない。
子ども達の巡回のために列の間を歩き回ったり、体育館の後ろの方で他の教師と話をするのは控える。特に校長先生の話の時は、動きを止めて話を聞く。子ども達に「動くな。」と指示するからには、自分も動かないのが原則。
- ・子ども達の観察 … 担任は、子ども達の列を間近で観察できる位置にいて、具合が悪くなる子どもの発見、介抱につとめる。
(よく見ていると、頭が不自然にぐらついている子は、貧血を我慢していることが多く、突然倒れてしまうことがあるので、要注意。声かけをする。)
- ・立ち位置 … 学年主任と全体指揮は、集団の斜め前に立ち、全体を観察する。あえて子ども達から見える位置に立つことで、「見てるよ。」というメッセージを送る。(図㉑)。
他の教師は、学級の列の真後ろや真横から自分の学級を観察。(図㉒)、時には列の中に入り込む(図㉓)



2 学年集会

- ・服装 … 普段の服装で良い。(場に合った服装を。全校集会とは違う。)
- ・話し手 … 集団の前方中央で話す。斜めからは不可(×)
集団の中央まで行くのが面倒で、斜めの位置で話すことは避ける。
(子ども達が首だけ曲げて聞くことになるので。)



- ・子どもに向きを変えさせない … 自分が真横にいた場合、自分の方に集団の向きを変えさせて話すことはしない。(自分が移動すれば済むこと。)
- ・動きながらしゃべらない … 動くものに注意が行き、子ども達は肝心の話を聞いていない。
- ・ポケットに手を入れてしゃべらない … 子どもが真似をする。
- ・話は要点を絞る … 2つまで。3つは記憶に残らない。
(記憶に残るのは最後の1つだけ)
- ・合唱練習 … 積極的に集団の列の中に入り、一緒に歌う。歌っていなくてもその場で説教はしない。

👤 全校集会で教師が身なりを整える習慣は、学校によって異なり、初任者が最初に赴任した学校が、そのような習慣がなかった場合、「これでいいんだ。」と思ってしまう。他の学校に転勤して初めて「あ、違うんだ。」と気づく。

子ども達の前に立つ者は、自ら身を正す、これが基本だと思います。年配の教師はなかなか変わろうとはしないので、若い教師に働きかけて、学校の古い習慣を変えていってほしいなと思っています。